

れんごう鳥取



2022年12月1日
No.12



QRコードで
HPへGo!!

発行: 日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人: 田中 穂 編集人: 金田 慎一
住所: 〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615
E-mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ: https://jtuc-tottori.jp

スローガン 安心社会へ 新たなチャレンジ ~すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ~

「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け 連合運動前進を誓う! -「第30回定期大会」開催-



団結してがんばろう!! がんばろう!! がんばろう!!!



亀井副知事 山本 鳥取労働局長 石上連合 副事務局長

【出席人数】

代議員/定数128人中 出席99人
うち女性26人・女性参画率26.3%)
特別代議員/出席4人(うち女性1人) 傍聴/1人
執行部/定数38人中 出席25人



議長団



挙手で承認する代議員

連合鳥取は、11月8日(火)、ハワイアロハホールにおいて「第30回定期大会」を開催し、2023年度運動方針や予算、来春施行に迫る「第20回統一地方選挙・鳥取県議会議員選挙」に7人の予定候補者の推薦を提案し、満場一致で承認されました。また、前大会で空席となっていた「男女平等推進特別枠」の副会長に森 由香里さん(フリード連合)の選出を含む役員補充提案が満場の拍手で承認され、新年度をスタートしました。

北畑仁史副会長の開会あいさつの後、議長に藤木真由代議員(情報労連)と細田雅志代議員(紙パ連合)を選出し、議事を進めていただきました。

【田中穂会長あいさつ(抜粋)】

組織強化・拡大、集团的労使関係の構築を最重要課題として取り組んでいく。

○すべての労働者・生活者が不安なく暮らすための環境実現のため、春闘では私たちが先頭になって旗をふるなければならない。

○直近の鳥取市議選、来春の鳥取県議選で連合鳥取推薦候補者全員の当選を成し遂げ、その先にある湯原俊二衆議院議員の再選につなげる。

○現在、女性雇用者の半数以上が非正規雇用で働いており、正社員で見ても、女性の賃金は男性の7割程度にとどまっている。すべての人が平等で差別されることのない社会の実現に向けて、これまでの取り組みをさらに発展させ、加速化をはかる必要がある。

○コロナ禍が続き、我々を取り巻く環境は厳しいものがあるが、今こそ知恵と力を結集し、すべての場面で「人を大切にする」思いで事にあたり、労働者福祉の向上、地域産業、雇

用・暮らしの豊かさ実現に向け全力で取り組んでいく。

【来賓あいさつ】

新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年同様、規模・日程を短縮し、開催しました。そのため、次のみなさまにご臨席いただき、激励のあいさつをいただきました。

・鳥取県・亀井一賀副知事
・鳥取県労働局・山本浩司局長
・連合本部・石上千博副事務局長
また、公務で出席できなかった湯原俊二衆議院議員をはじめとする多く

のみなさまから激励のメッセージをいただいております、受付横に貼りだして披露しました。

【報告事項】

2022年度活動報告、決算・会計監査報告、剰余金処分案について執行部より報告があり、満場一致で確認されました。

※新規加盟組合あいさつ

4月19日、運輸労連に新規加盟したNX(日本通運)境港物流労働組合の吉岡誠執行委員長が登壇し、組合結成までの経緯と今後の決意表明を行いました。

※「連合愛のカンパ」地域助成団体紹介

「鳥取さわやか車いす&湖山池マ

鳥取県特定(産業別)最低賃金 2022年12月17日より 859円に改定 | 34円UP 引上率4.12%
(鳥取県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金)

ラソン大会実行委員会」事務局の横野直史さんと、「全日本Challengedアクアスロン皆生大会実行委員会」の福永幸男実行委員長が活動の紹介と、「愛のキャンパ」へのお礼のあいさつをされました。また、会場ロビーにそれぞれの団体の活動を紹介するパネルと車いすの展示を行いました。

【議案・推薦決定セレモニー】
「第1号議案・2023年度運動方針」「第2号議案・予算」について満場一致で承認されました。

執行委員会で提案が承認された「第3号議案・第20回統一地方選挙への対応について」では、鳥取県議会議員選挙に7人の予定候補者の推薦を提案し、挙手により承認されました。

※推薦決定予定候補者は3ページ参照

続いて、「推薦決定セレモニー」として、田中穂会長から7人全員に「推薦決定書」を手渡し、一人ずつ決意表明と写真撮影を行いました。

今大会は役員改選期ではありませんでしたが、「第4号議案・役員選挙(補充)」では、前大会で空席となっていた「男女平等推進特別枠」の副会長の選出を含む役員補充提案が満場の拍手で承認されました。

【団結がんばろう!】
最後に、田中穂会長の音頭で「団結がんばろう」を三唱して閉会しました。

【新規加盟組合 あいさつ】



吉岡執行委員長

【「連合愛のキャンパ」地域助成団体あいさつ】



横野さん



福永実行委員長

【推薦決定セレモニー】



写真左から尾崎薫さん、興治英夫さん、伊藤保さん、田中会長、浜田妙子さん、坂野経三郎さん、西村弥子さん、村上泰三朗さん

【退任役員】お世話になりました (敬称略)

- ・前執行委員 矢田 仁志(私鉄総連)
- ・ “ 安養寺 芳美(女性代表/JR連合)

【新任役員】よろしくお祈りします (写真左から)

- ・森 由香里 副会長(男女平等推進特別枠/フード連合)
- ・細砂 直 副会長(日教組)
- ・鈴木 和夫 執行委員(フード連合)
- ・米花 大地 執行委員(私鉄総連)
- ・木下 香子 執行委員(女性代表/JR連合)

【第30回定期大会 フォトニュース】もご覧ください



西部地協発

格差是正や貧困対策、労働者全体の賃金の底上げのために「最低賃金引き上げ」は絶対必要!! - 「最低賃金学習会」開催 -

西部地協は11月22日(火)、「最低賃金学習会」を米子国際ファミリープラザにおいて開催しました。

講師に連合鳥取副事務局長で鳥取地方最低賃金審議会委員の河村正之さんを迎え、産別から19人(うち女性3人)が学習を深めました。

鳥取の最低賃金は10月に33円引き上げられ854円となりましたが、年収に換算しても約170万円ほどである絶対水準の低さと、都市部との地域間格差による労働力の県外流出の問題は依然として改善されていません。

鳥取県の最低賃金は全国の中でも低水準であり、更なる最低賃金の引き上げが必要です。そのためには県内で働く労働者全体の賃金の向上が必要であり、春闘における組織労働者の闘いは非常に重要です。

ワーキングプアをなくし、「働くことを軸とする安心社会」を実現する大きな一歩として最低賃金引き上げを実現していきましょう。



リストラや労働条件引き下げから自分や仲間を守るためにワークルールを知ろう!! - 「ワークルール検定 2022秋 初級検定&鳥取県初の中級検定」を実施 -



初級検定の様子

11月27日(日)、白兔会館において「ワークルール検定2022秋」を実施し、初級に26人、中級に19人がチャレンジしました。

連合は、ワークルール普及の観点から、ワークルール検定の取り組みを進めており、2020年からは全都道府県での初級検定が一斉開催されています。

また、今までに初級検定を受検いただいたみなさんより「中級検定の鳥取県開催」を望む声があったことから、初めて中級検定も鳥取会場で開催しました。

合格者は12月19日(月)にワークルール検定公式ウェブサイトにて発表され、合格証が送付されます。

次回検定は来年の秋を予定しています。ぜひ皆さん受験にチャレンジください!!



中級検定の様子

第20回統一地方選挙 鳥取県議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は、「第30回定期大会(11月8日開催)」において、来春の鳥取県議会議員選挙(3月31日告示・4月9日投開票)に下記7人の予定候補者を推薦することを決定しました。

組合員のみなさまはもとより、ご家族、ご友人・知人のみなさまからのご支援をよろしくお願いします。

(告示日時点の年齢/経歴/推薦依頼組織)



鳥取市選挙区 坂野経三郎さん (さかの けいさぶろう) (39歳/現3期/ 立憲民主党)	尾崎 薫さん (おざき かおる) (70歳/現3期/ 立憲民主党)	倉吉市選挙区 興治英夫さん (おきはる ひでお) (66歳/現5期/ 立憲民主党)	米子市選挙区 浜田妙子さん (はまだ たえこ) (77歳/現5期/ 立憲民主党)	西村弥子さん (にしむら みつこ) (52歳/現1期/ 立憲民主党)	東伯郡選挙区 伊藤 保さん (いとう たもつ) (70歳/現6期/ 自治労・立憲民主党)	西伯郡選挙区 村上泰二朗さん (むらかみ たいじろう) (34歳/新人/ 立憲民主党)
--	--	---	--	---	--	---

鳥取市議会議員選挙 結果

11月20日(日)投開票で実施された鳥取市議会議員選挙で、連合鳥取が推薦した5人の候補者は全員当選されました。

連合鳥取推薦候補者のためご尽力いただきましたみなさんに心より感謝申し上げます。

当選	さかね まさよ 坂根 政代(部落解放同盟)	2,033票
当選	あだち たかし 足立 考史(自治労・全水道)	2,024票
当選	あきやま ともひろ 秋山 智博(部落解放同盟・立憲民主党)	1,574票
当選	ながさか のりお 長坂 則翁(立憲民主党)	1,532票
当選	かつた せんじ 勝田 鮮二(立憲民主党)	1,215票

()は推薦依頼組織 (敬称略)



写真上段左から/
坂根政代さん
足立考史さん
秋山智博さん
写真下段左から/
長坂則翁さん
勝田鮮二さん

青年委員会発

「産別交流会(グラウンドゴルフ大会)」に29人参加!

青年委員会は、11月12日(土)、白兔グラウンドゴルフ場において「産別交流会(グラウンドゴルフ大会)」を開催し、6チームに分かれてプレーしました。

当日は天気にも恵まれ、グラウンドゴルフを楽しみながら、交流を深めることができました。

グラウンドゴルフは、鳥取県泊村(現在は湯梨浜町)発祥のスポーツでもあることから、交流会を通し、地元鳥取県に根付いたスポーツを学ぶことで、興味を持っていただくきっかけにもなったと思います。

実際のプレーは計8ホールを回り、合計打数からチーム戦と個人戦に賞品を用意しました。チームで協力しつつ、個人でも白熱した大会となりました。青年委員会に所属していながらも、普段話すことのない業種の方同士のコミュニケーションが図れ、非常に有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。

当初はコロナ禍ということで、「産別交流会」という行事は、趣旨を踏まえると開催が難しいのではないかと思いますでしたが、役員会にて打ち合わせを重ね、開催できる方法を模索し、開催までたどり着けました。ご協力いただいたみなさんに感謝申し上げます。

今後も行事を通して、青年委員会に属するみなさんの団結を深めていきたいと思っておりますので、引き続き青年委員会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

(寄稿 青年委員会副委員長 曾田雅志さん)



Information

STOP! 長時間労働
～あなたの働き方は大丈夫?～

ご家族・ご友人 & 職場の仲間にご紹介ください!

あなたのおまわりで悩んでいる人いませんか?

休日出勤 残業代未払

連合 全国一斉集中 労働相談ホットライン

2022年12月8日(木)～9日(金) 10:00～19:00

フリーダイヤル **0120-154-052** 相談無料 秘密厳守 携帯・スマホOK

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

一人ひとりの働き方で、電力不足を防ごう!

ピークカットアクション冬

OA機器

- 省エネモードを設定し、未使用時には電源をこまめに切る。
- プリンター等の共有機器の使用台数を必要最低限に。
- 仕事おわりには共有機器の主電源をオフ。できればテーブルタップの電源もオフ。

照明・明るさ

- 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどの、こまめば消灯を。
- LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の間引きを。
- あかりの量は調整し、目に負担をかけないように。

空調

- 屋内、屋外等の職場環境に応じた服装の調整。ウォームビズの実践を。
- 適度な換気に適度な温度と湿度。暖房機器の使用時は、カーテン・ブラインドの使用とサーキュレーターでの活用で空調の効率化を。
- エアコンのフィルターなどの機器のこまめな清掃で空気をきれいに。

冷蔵庫(自動販売機)

- 詰め込み過ぎず、温度設定は控えめに(強にしない)。
- 扉の余分な開閉をせず、開閉時間も短く。

トイレ

- 温水洗浄便座は、温度設定を控えめに。
- 流水洗浄時と使用後は、便座のふたを閉めて。

フロア間の移動

- 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に。

日本労働組合総連合会(連合) | 印刷は、自宅等でのテレワークにおいても心がけたい項目

ここからダウンロード



“ザ・議員”

さわだ とよあき
澤田 豊秋 琴浦町議会議員

会計年度任用職員制度の見直しを
-働くことを軸とする安心社会実現のために-

1980年代バブルの崩壊とともに、非正規雇用者が増加してまいりました。このことは、こんにちの人口減少、少子高齢化の一因でもあるかと思っております。こうしたことが実は、令和3年版の少子化対策白書に、非正規雇用者の増加、非正規雇用と結婚の関係等として挙げられています。

私はこれまでもこの問題を取り上げています。県内の自治体の会計年度任用職員制度はばらばらで、しかも中部が良くない状況もある中で、本町は来年度更新期を迎えるため、9月議会で再度会計年度任用職員の見直しを強く迫りました。

国連が発表した世界幸福度ランキングの上位は北欧が占めており、日本は2019年で58位です。

日本の不安定就業の多い状態を早く解消していくためにも、この制度を見直し、誰もが安心して暮らせる社会の実現を望んでいます。




9月議会の様子

おおもり えいいち
大森 英一 伯耆町議会議員

9月10日(土)、11日(日)の両日、第39回鳥取県夏季農業講座が「ホテル大山」で開催され、スタッフとして参加しました。

東大大学院教授＝鈴木宜弘氏、立民党衆議院議員＝小山展弘氏、日南町長＝中村英明氏を講師に迎え、各立場で農業問題を語っていただきました。

特に鈴木先生の講演が印象的で、日本農業がいかに政策として貧弱であるか、自説を説かれました。その根拠として国際食料情勢(食料危機)、食料自給率の低さ(食料安全保障＝危機意識の欠如)、就農状況(高齢化・離農・低所得)、農薬汚染、資源循環(種子の保護)などを挙げ、それぞれ相関関係があるにも関わらず、体系的となっていない日本の農政を危惧されておりました。今や、農林水産省ではなく経済産業省所管と見紛う農政の立て直しが必要と、私も思いました。



写真上/大森議員
下/「第39回鳥取県夏季農業講座」の様子(熱弁をふるう中村日南町長)

トピック

「〇〇の秋」となったが、私は当然「食欲の秋」である。最近では原油高騰で資材や燃料価格が高騰して値上げラッシュだが、腑に落ちないのが「ステルス値上げ」だ。価格はそのままでも身を減らすというやり方である。大食漢の私的には価格が上がっても中身は減らさないでほしいのだが、顧客離れの懸念から難しいのだろう。既に企業の努力では限界に来ており、そろそろ発想を転換し価格に転嫁して利益を生み出せるような仕組みにしないと持たないと思う。▼特に第1次産業といわれる(農業、漁業、林業)は深刻である。このままでは従事する人がいなくなる▼水際対策が緩和され、外国人観光客が多く来ているが「日本はすべてが驚くほど安い」そうだ。外国と足並みを揃えなくてもよいとは思いますが考え時とも思う▼我々も一時的な負担は増えるが賃金に反映されれば問題はなくなり、よい結果が様々な所へ波及させる経済対策もありかな。と思う

この頃である。
(西の鉄ちゃん)

